

校長室だより



気仙沼市立九条小学校
令和4年5月23日
NO.4
校長 白倉 彩枝子

かしこく やさしく たくましく

学校で…家庭で…「GRIT」を育てる

先週の運動会では、大変お世話になりました。

一日延期になりましたが、当日は、気温も校庭の状況も程良く、練習の成果を發揮するのにふさわしい「運動会日和」となりました。

保護者の皆様には、競技・演技中の温かい応援とともに、早朝の会場準備から終了後の後片付けまで、御協力いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、子供たちも、全種目、一生懸命に取り組み、笑顔あふれる運動会となりました。

今年度の運動会では、徒競走の賞品贈呈を1・2年生に限定し、3年生以上は担任から贈呈してもらうことにしました。その理由は、子供たち全員の走る姿やゴールの瞬間を私自身が見守りたかったからです。全員に賞品贈呈を行うと、時間の都合上、その願いは叶いません。また、子供たちにも、友達の走る姿に応援を送ってほしいと思い、全員が走り終わるまで、退場しないでトラック内で待ってもらうことにしました。



徒競走では、転びそうになっても、靴が脱げても、友達とぶつかっても、ゴールを目指して走り抜く子供たちの姿が見られました。順位に関係なく、ゴールに向かって走る姿に、胸が熱くなる思いでした。そして、そんな子供たちの姿を見て、私は、**GRIT**という言葉を出しました。**GRIT**とは、アメリカの心理学者アンジェラ・リー・ダックワース女史が提唱した言葉で、一般的には、「やり抜く力」と定義されています。**GRIT**の内容や意味を簡単に説明しますと…

☆	G	Guts	度胸	→	困難なことに立ち向かうこと
☆	R	Resilience	粘り強さ	→	失敗してもあきらめずに続けること
☆	I	Initiative	自発性	→	自分で目標を見定めること
☆	T	Tenacity	執念	→	最後までやり遂げること

GRITは、生まれつきの才能や環境によって身に付くものではなく、誰しもが後天的に伸ばすことのできる能力であると言われていています。才能や能力の高い人でも**GRIT**が身に付いていなければ開花できないとも言われています。

では、**GRIT**を身に付けるにはどうしたらよいでしょうか。

それは、①今より少し難しいことに挑戦する②失敗を恐れずに挑戦し続ける③小さな成功体験を積み重ねる、そして、④その姿を認め称賛する…などが挙げられます。①～③は子供たちの努力によるところが大きいです。④は私たち大人が機会を逃さず、意識的に行うことが大切です。学校生活はもちろん、家庭の中でも、**GRIT**は、芽生え、育むことができます。運動会では、走るのが苦手な子供もいたことでしょう。そんな中、「挑戦したこと」「走り抜いたこと」は、**GRIT**が育まれている証拠です。

運動会后、子供たちはまた、新たな目標に向かって、歩み始めました。学校では、これからも子供たちを見守り、認め称賛していきます。家庭でも、子供たちの**GRIT**が育つ時を見守ってください。焦らずゆっくりと、確かに…。どうぞよろしく申し上げます。